

『彼女たちの場合は』 江國 香織 著 集英社 (分類:Fエ)

「これは家出ではないので心配しないでね」14歳と17歳。少女は2人きりで“アメリカを見る”旅に出た…。美しい風景と愛すべき人々、そして「あの日の自分」に出会える長編小説。『小説すばる』連載を加筆・修正。



『あずかりやさん3 彼女の青い鳥』

大山 淳子 著 ポプラ社 (分類:Fオ)

東京の下町でひっそりと営業する「あずかりや」は、1日100円で何でも預かる。鳴かず飛ばずの中年作家はなぜ渾身の一作を預けるのか。半年分の料金を払って手紙を預けた少女と店主が交わした約束とは…。文庫も同時刊行。



『蒼色の大地』 薬丸 岳 著 中央公論新社 (分類:Fヤ)

時は明治。「海」と「山」、決して交わることのないふたつの血に翻弄される3人の少年少女は、やがて国を揺るがす争いに巻き込まれていき…。競作企画「螺旋プロジェクト」の明治編。『小説BOC』連載を単行本化。



『パリ警視庁迷宮捜査班』 ソフィー・エナフ 著 早川書房 (分類:953エ)

6カ月の停職から復帰したパリ警視庁警視正アンヌの新たな配属先は、曲者だらけの特別捜査班。アンヌはメンバーと共に、20年前と8年前に起きた2つの未解決殺人事件の捜査を始めるが…。フランス発のコミカル・サスペンス。



『女と男の絶妙な話。』 伊集院 静 著 文藝春秋 (分類:914イ)

「恋愛のかたちに同じものはない」「時間だけが唯一のクスリ」「怖い女房は良妻」…。『週刊文春』連載の「悩むが花」に掲載された人生相談から厳選した名言・金言・苦言を一挙収録。恋に仕事に趣味に人生に効くヒントが満載。



『孤独という道づれ』 岸 恵子 著 幻冬舎 (分類:914 キ)

日本とフランスを行き来した60年の苦や楽、三度の別れで気づいた、孤独という宝もの。女優・作家の岸恵子が、晩年という季節の生き方を綴る。『オール讀物』掲載など全16編のエッセイを収録。



『ざんねんな食べ物事典』 東海林 さだお 著 文藝春秋 (分類:914 シ)

食べ物に漂うそこはかとなない“ざんねん”感を検証してみた表題作から「ラーメン行動学」まで、爆笑必至のショージ節エッセイ。村瀬秀信との対談も収録。『オール讀物』連載他を単行本化。



『不惑の老後』 曾野 綾子 著 SBクリエイティブ (分類:914 ソ)

自分を取り巻くさまざまな環境が変わり、身体も次第に衰えていく中、年を取ったからこそ見えてくることもある。曾野綾子が語る、人生の終わりをより良く迎えるためのヒント。



『大切なことは時を経ても変わらない』

吉沢 久子 著 海竜社 (分類:914 ヨ)

小さな幸せを集めて、人生を豊かに。101歳で天寿を全うした著者の生活哲学を伝える。「98歳。心して「一人」を楽しく生きる」「今日をいっしょうけんめいで生きる」「老い方上手の楽しい台所」から抜粋して再編集。



『歴史を変えた100冊の本』

スコット・クリスチャンソン 著 エクスナレッジ (分類:028 ク)

世界の主要な宗教の基盤となった書物から、信仰に挑んだ科学書、文学の新たな動きを引き起こした小説まで。書き記された言葉の力がいかにして世界を形成し、変化させ、変革をもたらしたかを、美しい図版とともに紹介する。



『番記者が見た新天皇の素顔』 井上 茂男 著 中央公論新社 (分類:288.41 イ)

お世継ぎのプレッシャー、雅子さまの「適応障害」、愛子さまの不登校、先の陛下とのコミュニケーション…。これらの課題に新天皇はどう向き合ってきたか。元「番記者」が、印象的なエピソードとともにその素顔に迫る。



『おうちで作る PALETAS フローズン・フルーツバー』

PALETAS 著 河出書房新社 (分類:596 オ)

ジュースをかためるだけのアイスバーはもう卒業！フローズン・フルーツバー専門店の PALETAS が、カラフルでかわいくて、家庭でも果実のリッチな味わいが楽しめるレシピを紹介します。



『コップひとつからはじめる自給自足の野菜づくり百科』

はた あきひろ 文・イラスト 内外出版社 (分類:626 ハ)

都会でもできる、楽しい自給自足の本。NHK テレビ講師はたさんが、マンションの10階でプランターひとつではじめた自給自足ノウハウを、イラスト入りでわかりやすく解説します。おすすめの野菜30種類の育て方も掲載。



『本当の翻訳の話をしよう』

村上 春樹 著 スイッチ・パブリッシング (分類:801 ム)

翻訳の不思議、短篇小説の作り方…。村上春樹と柴田元幸による、20世紀アメリカ文学を中心にした、小説と翻訳をめぐる対話を収録する。『MONKEY』掲載をもとに単行本化。



『中川李枝子』 中川 李枝子 著 平凡社 (分類:910 ナ)

子どもはいつでも全力投球。お話の主人公になれるほど、とびっきり個性的！保育士経験から「ぐりとぐら」「いやいやえん」を生み出した児童文学作家が本と子どもとの出会いを語る。人生の先輩による語りおろし自伝シリーズ。



新しく入った 児童図書・YA
(5/26) 予約受付いたします！

『リアル妖怪大図鑑』

森野 達弥 監修 高橋書店

(分類:388リ)

ずっと昔から、人間の生活のそばにいたらしい妖怪。88種の妖怪のもつ力や行動、目撃された場所、強さや危険度、大きさを、カラーイラストで紹介する。マンガ「本当にあった!? 妖怪の怖い話」も収録。(小学校中学年～)

